

## 家庭教育力の強化を図る

# 家庭・地域・学校が連携したPTA活動の取組

東郷町立東郷小学校PTA

### 1 はじめに

本校は、名古屋市南東部に位置し、名古屋市、豊田市のベッドタウンとして人口が増加する愛知郡東郷町にある。本校の西には県道瀬戸大府東海線が通り、北には豊田西バイパスとも呼ばれる国道153号線が通るなど車での便はよい。また、153号線付近の東郷町役場周辺には大型商業施設が建設され、人の流入や物流の往来が活発になってきている。学校周辺は、住宅の建築が進み大型の工場もたくさんあるが、田んぼも点在する緑の多い環境となっている。

明治40年4月開校の本校は現在、開校114年目を迎え、全校生徒数は468名、学級数は19学級（通常学級15、特別支援学級4）、PTA会員数は350名であり、卒業生は6,852名を数える。

学区は、傍示本（ほうじもと）、和合、北山台の三つの地域からなっている。

校訓「あかるく かしこく たくましく」を基盤として、徳・知・体の調和のとれた児童の育成を目標としている。



【東郷町立東郷小学校】

### 2 研究への取組

#### (1) 研究のねらい

本校PTAは「家庭教育力の強化を図る」「学校支援を積極的にすすめる」「地域社会との緊密な連携を築く」の3つを活動方針とし、さまざまな活動を行っている。本年度は特に、「家庭教育力の強化を図る」を重点目標に研究を行った。保護者が学校、地域で行われるPTA活動に積極的に参加をすることで家庭内での子どもとの会話が増えたり親同士の連携が図れたりし、それが家庭教育力の強化につながると考え、研究を進めた。

#### (2) PTA組織と活動内容

PTA役員・委員30名は、会長や副会長、総務などの「役員」、教養部・保健体育部・広報部・生活指導部の4つの「専門部会」のいずれかに所属している。また、「地区長」を兼ねている委員もおり、各地区とのパイプ役になっている。委員は2年任期となっており、役員会や委員会の運営、専門部会の活動、運動会などの学校行事の手伝い、各種研修会等への参加協力などを行っている。また、それぞれの地区において、交通安全指導や校外の見回りなども行っている。仕事をもっている委員も多く、やれる人がやれるときにやれる範囲で助け合っている。

### 3 実践活動の概要

#### (1) 「親子校内清掃活動（除草作業）＆アイスクリームパーティー」

保健体育部が中心となり、例年8月の最終土曜日に「親子校内清掃活動（除草作業）＆アイスクリームパーティー」を行っている。ここ2年は新型コロナウイルス感染防止の観点から、実施を断念しているが、親子と教職員を合わせると総勢80名ほどが集まる人気のPTA活動である。

早朝午前7時半。炎天下を避けロータリーに集結した参加者は、保健体育部の指示のもと五つのエリアに分かれ除草作業に励む。親が子どもに鎌の使い方を伝授したり、草取りをしながら担任と保護者・児童の3者面談が車座になって始まったりと、実に和やかな雰囲気の中で除草作業が進んでいく。1時間もすると刈った草で2トントラックがいっぱいになり、正門付近やロータリー、中庭までが見違えるほどきれいになる。



【親子で草取りをする様子】

その後はお待ちかねのアイスクリームパーティーの時間。額から噴き出す汗をタオルで拭きながら、きれいになった自分の学校を見ながらアイスクリームを頬張る子どもの笑顔は最高です。「学校がきれいになってうれしい」「来年は友達も誘いたい」といった、既に来年度への参加意欲を見せる子どもの感想や、「早起きをして、子どもと草取りに参加してよかった」「息子の担任の先生のお顔も拝見できたし、たくさん話をすることもできた」などの保護者の感想も多く寄せられた。



【楽しそうにアイスを食べる様子】

本校では、親子で参加するPTA活動が多く、家庭での話題提供にも一役買っている。

#### (2) 朝の読み聞かせ活動

子どもの読書離れが叫ばれるようになって久しいが、本校の児童は生活指導部主催の「朝の読み聞かせ」の時間を心待ちにしている。本に親しむことで、語彙力が増し、表現力を高め、感性が磨かれることで、豊かな人生を送る力を身に付けられると考え活動している。本校では、保護者とともに地域の方々にも参加していただき、「朝の読み聞かせ」が毎月第2

水曜日の8時25分から15分間、各教室で行っている。読み聞かせの朝になると、子どもたちはいつもより早めに朝の身支度を済ませ、いそいそと机を教室後方へと移動し始める。誰もが楽しみにしている活動なので、子どもたちはお互いに協力し合い、出来上がったスペースに静かに腰を下ろして本日の読み手を待つ習慣がついている。読み手のボランティアの方々は、毎回異なる学級を担当するようにローテーションを組み、学年や発達段階に応じた本を選んで活動している。



【集中して読み聞かせを聞く様子】

大型の絵本や英語の絵本、紙芝居を使う等の工夫でがっかりと子どもたちの心をつかんでいる。

大型の絵本や英語の絵本、紙芝居を使う等の工夫でがっかりと子どもたちの心をつかんでいる。

### (3) 給食試食会

この取組は、保護者に学校給食を通して家庭での食の大切さを再認識してもらったり、学校給食の在り方について理解を深めたりするために、全校の保護者から参加希望者を募り、毎年実施している。今年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から会食を自粛しているため中止となったが、例年は修学旅行に出かけている6年生の教室が参加者で満員になるほどの盛況な会である。

午前11時30分に集合した参加者は、図書室で栄養教諭から食の安全指導に関する話や学校給食の意義や在り方についての講話を聞いた後、教室に移動して会食した。準備や配膳、後片付けなどは教養部の役員で行った。



【熱心に話を聞く保護者】

参加した保護者からは「子どもたちのために食材や味付けにこだわって作っていただき、食育の観点からも残さず食べられるようにご指導していただいていることが分かりました」「『今日は、給食を残さず全部食べたよ!』と元気に帰ってくる子どもを見ていると、本当に食の大切さを実感します。家庭でもおいしく食べられるように一手間かけるように努めます」という感想が寄せられた。アレルギー対応や栄養のバランス等についての知識を身に付け



【楽しそうに会食する保護】

るとともに、学校給食への理解を深めている。

(4) 町PTA連絡協議会主催「スポーツを楽しむ会」

この会は東郷町内小中学校PTAの親睦を図るために毎年行われている「インディアカ大会」である。昨年度、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から残念ながら中止となった。本来ならば本校は今年度の事務局校であった。毎年6月の第1または第2土曜日に東郷町総合体育館で、各校のPTAと4役の先生でチームを作り、白熱した試合が繰り広げられる。東郷町ではインディアカが盛んに行われており、町体育協会にはインディアカ部もある。各校では、夜間の体育館開放時に熱心に練習が行われている。本校では毎週木曜日の19時から行われており、保護者がたくさん集まって2時間ほど汗を流している。保護者とともに練習に参加した子どもたちは、上級生が下級生に声を掛けて一緒に楽しそうに遊んでいる。練習の休憩時間などには、子どもたちが遊んでいる様子を見て、保護者同士が情報交換したり、悩み事を相談したりするのに有意義な時間となっている。



【開会式の様子】



【熱戦が繰り広げられます】

大会当日は町インディアカ部の審判員も含め、総勢約300人が集結する。開会式や優勝盾返還が行われ、その後6コートに分かれて予選リーグ、準決勝、決勝が行われる。同じ町内の小中学校のPTAが一堂に会して、団結したり、他のチームを応援したりするのは親睦を深める意味でも、ストレス発散の意味でも、意義あるものであると考える。また、保護者が元気であるということは子どもにもよい影響を与える。学校、地域、家庭がうまく連携してPTA活動が行えている取組であるといえる。

#### 4 おわりに

今、学校現場はさまざまな課題を抱え、業務も多岐にわたっている。さらに、教職員の働き方改革が叫ばれている。そんな中、学校のみでなく、家庭の教育力を高めることも子どもの健全育成のための重要課題である。

今後も学校・家庭・地域の三者が連携した双方向の取組を増やし、社会に開かれた教育活動を目指すことで、子ども、保護者、先生がみな笑顔になると信じ、さまざまな活動を積極的に進めていきたい。